



【第44期初級陸曹特技課程「准看護師」入校式】平成31年4月3日

自衛隊札幌病院准看護学院（学院長 高橋1佐）は、4月3日（水）、北部方面総監部医務官、北部方面隊最先任上級曹長、北部方面衛生隊長等多数の関係者が臨席する中、第44期准看護学生26名（男子14名、女子12名）の入校式を実施した。

入校にあたり、病院長（大鹿陸将）は、「人格の陶冶に努めよ」、「困難に挑戦せよ」の2点を挙げ基礎となる教育をしっかりと受け、芯となる人間性を確かなものにして、選択に迷ったときに、常に困難な方の道を選ぶことのできる挑戦心を保ち続けるよう要望した。

また、准看護学院長は、常に考える姿勢を持ち、積極的に自ら求めて学び多くの看護知識や技術を自分のものにするよう「自ら学び 鍛えよ心」を要望した。

北部方面総監部 医務官（竹島1佐）は、准看護師としての専門識能と衛生科隊員としての資質を養うよう「医療に従事する自衛官としての基本・基礎を確立せよ」を要望した。

病院は、「真に役立つ衛生救護陸曹」を育成するため2年間の教育を開始する。



病院長訓示



記念撮影 ～二十六の志と～



真剣に話を聞く学生達



准看護学院長式辞



北部方面総監部 医務官祝辞